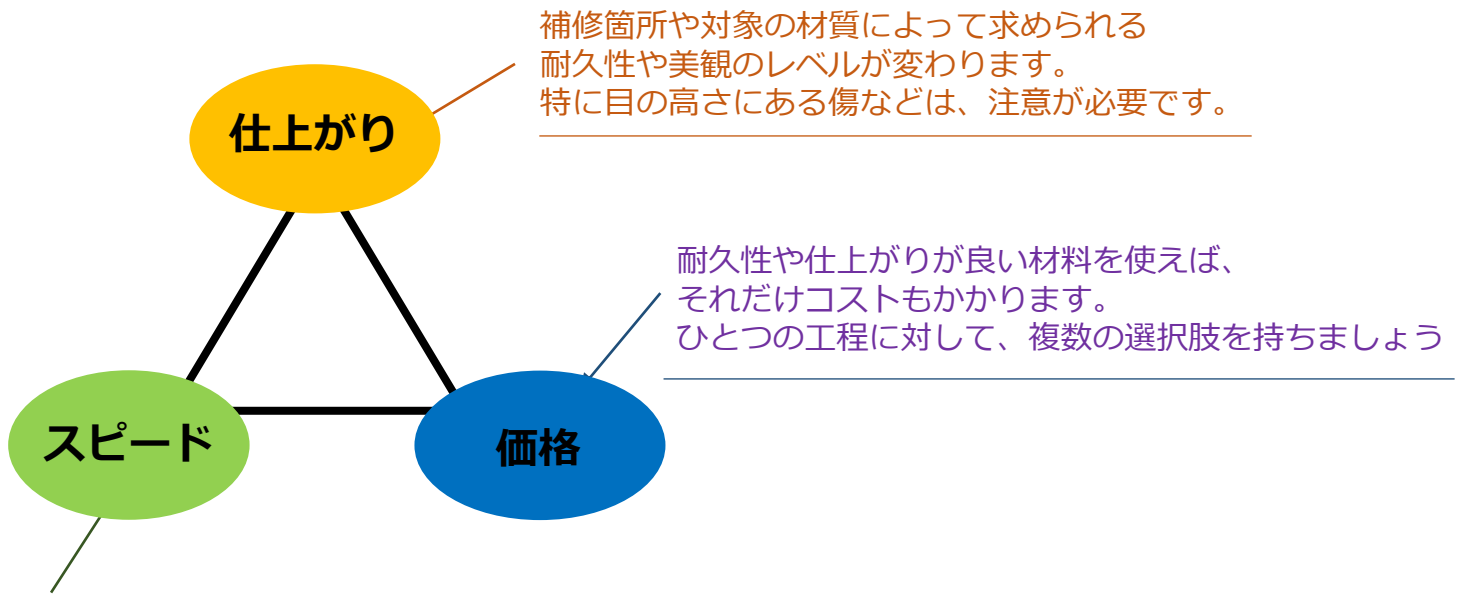


補修材料の選び方 -ウッドリペア-

-作業の流れ-

- ①下地処理 … 補修する傷部分のバリ取りや足付けをします
- ②充填 … スティック充填材やパテなどを使って、傷を埋めます
- ③成形 … 充填した箇所を平滑に整えます
- ④着色 … 塗料を使って、ベースの色を着色したり、木目を描いたりします
- ⑤艶調整 … スプレー等を使って、補修箇所の艶感を周りを合わせます

～材料選びのポイント～



数十カ所の傷を1日で補修しなきゃいけない…
なんて事も少なくありません。
手早く使える材料を使うのも大事です！

作業① - 下地処理

下地処理は仕上がりを左右する地味だけど大事な工程！



パワーグリップ/彫刻刀
(バリ取りに使います)



マクソントランサー
(盛り上がった傷の輪郭をならすのに使います)

作業②・③ - 充填～成形

スピード重視で仕上げたいとき

クレヨン系

- おすすめポイント
 - ・手早く作業できる（ヘラ程度があればOK）
 - ・色数が多い
 - ・価格が安め
 - 弱点
 - ・充填後に硬化はしないないので、耐久性は高くない（爪を立てたら跡がつくくらい）
- 【活用シーン】
建具についた小さい傷(目立たない箇所)の補修



フィルスティック



パッチャルペンシル

スピードと仕上がり(耐久性)のバランスがほしいとき

スティック型

- おすすめポイント
 - ・スティック同士で混ぜて色づくりできる
 - ・色数が多い
 - ・価格が安め
 - ・充填後も高温で溶かせるので、やり直ししやすい
 - 弱点
 - ・ガスコテや電池コテなどが必要
 - ・慣れるまでは、色混ぜ作業が難しい
- 【活用シーン】
フローリングについた小さい傷など、ある程度の耐久性を持たせたい補修



ハードワックス



高隠蔽ハードフィル

耐久性を重視したいとき ※ただし作業難！

2液パテ

- おすすめポイント
 - ・化学反応で硬化するので、もっとも固くなる
 - ・立体部分や後半の補修が可能
 - 弱点
 - ・硬化までに時間がかかるので、たくさんの傷を直したい場合は向いてない
 - ・広範囲に埋めた場合、成形や着色の作業が難しい
 - ・色数が少ないので着色必須
- 【活用シーン】
湿気による腐食など、広範囲の補修。階段の踏み板や建具の角部分などの補修



レックスリート



ウディーポリパテ



ウッドカラーエポキシパテ

作業④ - 着色

細かい調色はせずに済ませたいとき

マーカー系

- おすすめポイント
 - ・手早く作業できる（調色不要）
 - ・色数が多い
- 弱点
 - ・調色(色の調整)ができない
 - ・ラッカー塗料などに比べると耐久性が低い

【活用シーン】

建具や造作材などの目立たない箇所の補修。木目だけ描いておけば目立たなくなる箇所の補修



ブラッシュペン(筆ペン)
→染料系。木目描き向き



Ecoタッチアップマーカー
→顔料系。ベースの着色向け

しっかり色を作って着色したいとき (充填材だけで色が近づかなかったとき)

ラッカー塗料系

- おすすめポイント
 - ・ベースの着色や広範囲の着色ができる
 - ・複雑な色の濃淡も再現できる
- 弱点
 - ・調色作業に時間がかかる
 - ・馴れるまで色づくりが難しい

【活用シーン】

フローリングなど、目につきやすい箇所の補修



エナメルペイント

→ペースト状なので、量を作りやすい。
容量あたりの値段も安い。



ペイントボックス

→パレット型なので、片手で持って
使用可能。塗料は固形の状態のものを
希釈して使用。

ペーストタイプと固形タイプ、使いやすさは人によりますが、最初のうちはペースト状を使う方が多いです。



HBリペアラッカーシンナー

→ラッカー系の塗料は、ラッカーシンナーで希釈します。

作業⑤ - 艶調整

臭いを抑えて作業したいとき/手早く仕上げたいとき

ペン型/液体型

○おすすめポイント

- ・スプレーと違ってミストを出さず、水性なので臭いを抑えて補修できる
- ・部分的に塗布できるので、スプレー塗布よりも作業しやすい

○弱点

- ・広範囲への塗布に向いていない(ペン型のみ)

【活用シーン】

臭いを出したくない入居済みの現場。仕上がりよりもスピードを重視したいとき。



ウルトラボンドマーカー
(ペン型)



フィニッシュアップ
(水性ポリウレタン)

広範囲に塗布したいとき/耐久性を持たせたいとき

スプレー型

○おすすめポイント

- ・広範囲に効率よく塗布できる
- ・ラッカー塗料なので乾燥～硬化が早い
- ・補修現場でもっとも使われているタイプ

○弱点

- ・溶剤の臭いが強い
- ・馴れるまで、均一に塗布するのが難しい

【活用シーン】

臭いが出ても支障がない新築現場。広範囲に塗布したいとき。

トップコート



UVガードスプレー

→クリア層が黄変しづらい成分が含まれたタイプ。
(白系の建材補修などにおすすめ)



エコスター

→特別な付加機能はない分、
価格が安いシンプルなタイプ。

中塗り剤



エコスター サンディングシーラー

→トップコートの前に塗布する
スプレー。研磨作業では平滑に
しきれない凹凸を平らに調整。

最初のうちは「艶有・5分艶消し・全艶消し」
の種類を持っておくと便利です。
塗膜が厚くなるほど艶は上がるので、
迷った際や艶が低い方から使いましょう。